

北海道高等学校文化連盟第17回全道高等学校英語弁論大会 (弁論の部・ディベートの部) 実施要領

※今年度全道の申込は弁論・ディベートともメールで行います。郵送は不要です。

- 1 主催 北海道高等学校文化連盟国際交流専門部
2 当番校 北海道岩見沢東高等学校
3 日時 1日目 平成28年 10月29日(土) 9:00 ~ 17:30
2日目 平成28年 10月30日(日) 9:00 ~ 16:15
4 会場 北星学園大学 〒004-0042 札幌市厚別区大谷地西 2-3-2 TEL 011-891-2731

- 5 日程
- | 1日目 | | 2日目 | |
|-------------|-------------------------|-------------|-------------|
| 9:00~ | 受付 | 9:00~ 9:25 | 準備 |
| 9:30~ 9:45 | 開会式 | 9:30~10:30 | ディベート予選第4試合 |
| 9:45~10:15 | 弁論発表 1~4 | 10:30~11:30 | 予選会場片付け |
| 10:30~11:00 | 弁論発表 5~8 | 11:30~12:30 | 準決勝 |
| 11:10~11:40 | 弁論発表 9~12 | 12:30~13:15 | 昼休み |
| 11:50~12:20 | 弁論発表 13~16 | 13:15~14:15 | 3位決定戦 |
| 12:40~13:10 | ディベートジャッジ打合せ | 14:30~15:30 | 決勝 |
| 13:20~13:45 | 弁論大会表彰式及び
ディベート大会諸連絡 | 15:45~16:15 | 閉会式 |
| 14:00~15:00 | ディベート予選第1試合 | | |
| 15:15~16:15 | ディベート予選第2試合 | | |
| 16:30~17:30 | ディベート予選第3試合 | | |
- ※時間は変更の可能生あり

※弁論の部に出場する生徒がいない学校等、事情により到着が遅くなる場合は、1日目の12:00~12:30に受付を行って下さい。

- 6 交通手段 【北星学園大学】 地下鉄東西線「大谷地駅」下車 1番出口 徒歩5分

【弁論の部実施要領】

- 1 当番校 北海道岩見沢東高等学校
〒068-0820 岩見沢市東山8丁目1番1号 TEL 0126-22-0175 FAX 0126-22-6883
- 2 参加資格 (1) 各地区の代表者であること。
(2) 英語のネイティブスピーカーは不可。
- 3 各地区からの出場者数 (1) 地区大会の参加者数が10名以下の場合 1名
(2) " 11名から20名の場合 2名
(3) " 21名以上の場合 3名
- 4 参加費 1,000円
- 5 演題 地区大会で発表したものとする。原則として内容の変更は認めない。
- 6 制限時間 4分30秒~5分30秒。開始後4分30秒で1回、5分で1回、5分30秒で2回ベルを鳴らします。
- 7 審査 (1) 審査基準
- | | |
|-------------------|-----|
| ①内容 (Content) | 10点 |
| ②英語・態度 (Delivery) | 10点 |
| ④応答 (Q & A) | 4点 |
| ⑤時間 (Time) | 1点 |
| 合計 | 25点 |
- ※スピーチ及び応答(Q&A)にマイクを使用します。
- (2) 審査員 5名で構成し、英語を母国語とする審査員を1~2名含みます。
- 8 表彰 1位から5位を表彰します。特別賞1名
上位2名は、第10回全国高等学校英語スピーチコンテスト(2月12日(日))への出場権が与えられます。
- 9 申込方法 全道大会の出場権を得た生徒は次の2点を大会事務局にメールで提出してください。
※今年度より郵送ではなくメールでの申込とします。ご注意ください。
(1) 出場申込書

(2) スピーチ原稿 [A4 縦 横書き(余白 22mm, 文字数 44, Word にて作成)
タイトル, 名前, 学校名, 本文の順にお願いします。]
(添付ファイル名は学校名+生徒氏名)

メール送信先: 事務局岩見沢東 辻 歩 tsuji.ayumu@hokkaido.school.ed.jp

- 1 0 申込締切 平成28年10月5日(水) 出場申込書+スピーチ原稿をメールで提出ください。
支部の開催時期により申込が間に合わない場合は事前にお知らせください。
- 1 1 申込先 岩見沢東高校 辻 歩 不明な点は事務局 岩見沢東高校 TEL 0126-22-1009
- 1 2 その他 過去の全道大会のスピーチ原稿等資料が必要な方は事務局にお問い合わせください。

【ディベートの部実施要領】

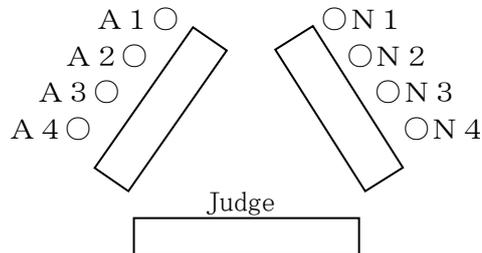
- 1 当 番 校 北海道札幌国際情報高等学校
〒001-0930 札幌市北区新川7 1 7 - 1 TEL 011-765-2021 FAX 011-765-2022
- 2 参加資格 ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する3年生までの生徒。
・英語のネイティブスピーカーは不可。
・以下の海外生活経験者等の条件に該当するものはチームに2名まで。
(1) 英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒(就学前の滞在は不問)
(2) 英語を第2言語とする国の出身である生徒(就学前の滞在は不問)
(3) 家庭で常用的に英語を使っている生徒
ただし、試合には該当生徒は1名のみ出場できる(該当の2名は交代で出場できる)
- 3 チーム構成 ・各校2チームまで。(※参加チーム数が奇数の場合例外あり) 1チーム6名まで。
・原則として試合への出場は4人で、試合毎にメンバーの入れ替えは可能(ただし、チーム登録できる選手が3人しかいない学校についてのみ、例外を認める)。
・他校との合同チーム編成可(但し、全国大会へは出場できません)。
- 4 対戦方法 予選4試合を行った後、上位4チームが決勝トーナメントへ進む。
- 5 論 題

The Japanese government should adopt a social security system that provides a basic income to all Japanese citizens. 「日本政府は、日本のすべての市民に、ベーシック・インカムを給付する社会保障制度を実施すべきである。是か非か」
--
- ※ 付記事項、追加ルール等の補足・詳細については全国高校生英語ディベート連盟ホームページ <http://henda.global/>を参考にします。
- 6 競技規則 競技は全国高校生英語ディベート連盟の「大会ルール」「ジャッジ基準」に基づいて行うものとする。上記の連盟ホームページを参考にしてください。
- 7 参加費 1チームにつき3,000円
- 8 申し込み 参加申込書に必要事項を記入し、10月5日(水)までに岩見沢東高校にメールで提出して下さい。※今年度より郵送ではなくメールでの申込とします。ご注意ください。なお大会について不明な点は札幌国際情報高校 木村までお問い合わせ下さい。また、申し込みが奇数校だった場合、出場校を偶数にそろえるためにさらに1チーム追加出場させることを希望する学校は、申込書にその旨を記載してください。
- 9 選抜方法 参加校数(チーム数ではない)に応じて、全国大会出場枠が与えられる。
- 1 0 賞 1位・2位にカップ+賞状、3~4位に賞状を授与。
他に個人賞としてベストディベーター賞を選出。上位校は、12月10日(土)~11日(日)に常磐大学・常磐大学高等学校(茨城県)で行われる全国大会への出場権が与えられます。

- 11 その他 (1)地区大会を開催する支部もありますが、今年度は地区順位にかかわらず参加可能です。
 (2)昼食は各自お持ち下さい。
 (3)上靴は必要ありません。外靴のまま会場にお入り下さい。
 (4)宿泊先の斡旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。
 (5)今後の英語ディベート普及のために、**多くの先生方・生徒の皆さんの見学を奨励**しています。ふるってご参加下さい。1日のみの見学も可能。
 (6)引率でこられた先生方にもジャッジをお願いすることがあります。

発言の順番

A：肯定側



N：否定側

発言者	役割と内容	時間
A	①肯定側立論 (メリットは2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
N4→A1	②否定側質疑 (否定側からの質問に肯定側A1が答える)	2分
N1	③否定側立論 (デメリットは2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
A4→N1	④肯定側質疑 (肯定側からの質問に否定側N1が答える)	2分
	準備時間	2分
N2	⑤否定側アタック (肯定側の立論のみに対して)	3分
A3→N2	⑥そのアタックへの質問 (肯定側A3からの質問に否定側N2が答える)	2分
A2	⑦肯定側アタック (否定側の立論のみに対して)	3分
N3→A2	⑧そのアタックへの質問 (否定側N3からの質問に肯定側A2が答える)	2分
	準備時間	2分
A3	⑨肯定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
N3	⑩否定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
	準備時間	2分
A4	⑪肯定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分
N4	⑫否定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分

42分